

”自分でできる！”～家庭でのワンポイント～

モンテッソーリ教育では、6歳までは「自分でできるように手伝ってください」がスローガン。子どもは本来「自分でできるようになりたい」という自分の中で成長していこうとする“生命力（内なる教師）”を持っています。大人の援助の一つに環境を整えることがあります。家庭でのお仕事も「できるようになりたい」がたくさんあります！



園でのエピソード

「ここも汚れてるよ！きれいにしたい！」と自分で気づき、丁寧に台拭きをする様子が見られます。園では、手のひらサイズの台拭きを用意しています。

おうちでできる

「自分でできる！」工夫

ポイント 道具は子どもサイズで

例）食器… 手のひらにおさまるサイズだと安全に運べ、自分でつぐこともできます。台拭きや雑巾…こぼしてしまった時なども自分で拭くことや雑巾しぼりができます。

ポイント 本物の体験ができるものを

落としたり割れた、急いでついだらこぼれた等、本物を通してのリアルな経験は乳幼児期には不可欠です。もし失敗やトラブルが起きたときも、大人だけでサッと処理してしまわず、子どもと一緒に元に戻す手伝いを経験することで、判断力や自分で考える力が身につきます。

保育園では陶器の食器を用意しています♡

～子どもの「できた！」を育むには～

使う道具をそろえることも大切ですが、“大人のこころがけ”はより大切です。それは、子どもには何度も言って聞かせるより、まず大人が丁寧にやってみせると子ども自身が「くり返しチャレンジできる」ようになります。

保育園でも“大人のこころがけ”を大切に子どもたちと関わっていきたいと思っています。ご質問などありましたら、いつでもお声かけください♡

参考 おうちでできるモンテッソーリ子育て クーヨン/クレヨンハウス 出版

参考 クーヨン 2019・9月号/クレヨンハウス 出版